

きみえ通信

2006・1・15 No-15

燕市議会議員

さいとう きみえ 議会報

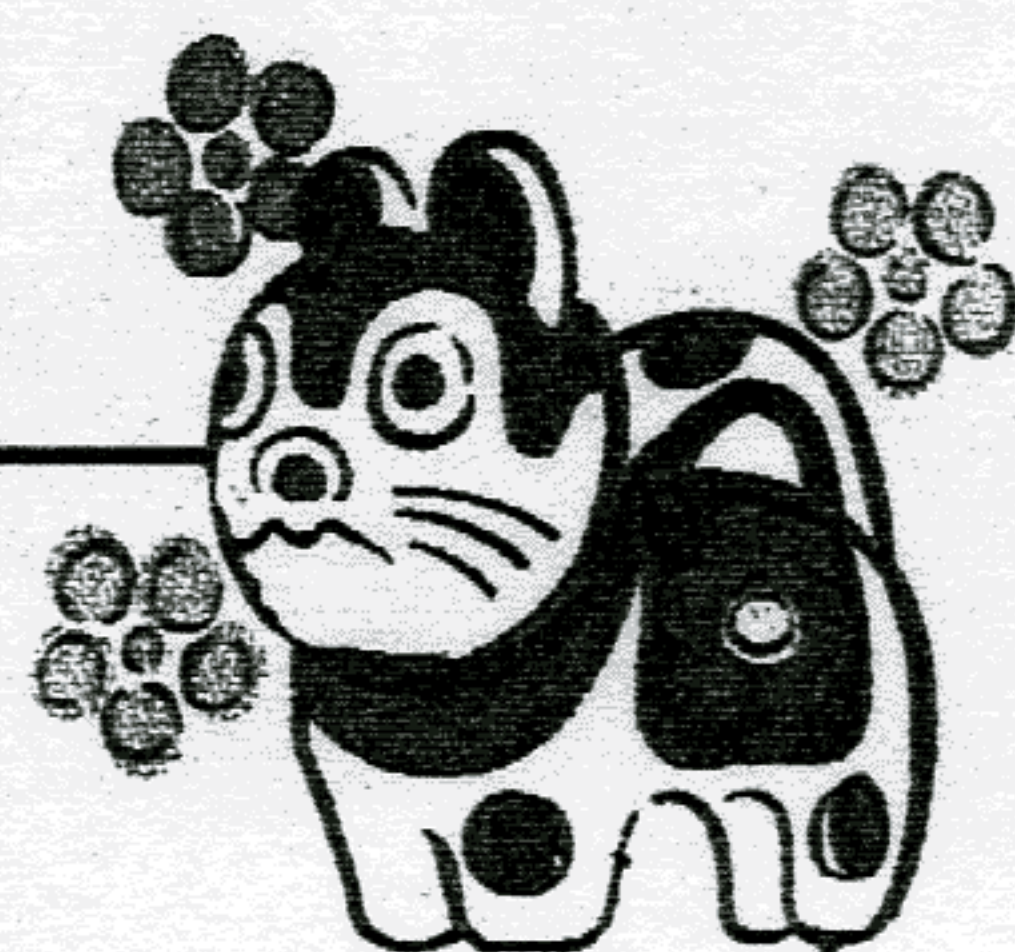
普段着の会話を大切にしたい.....

「さいとうきみえと燕を考える会」事務所

〒959-1262 燕市水道町3丁目6060-3

TEL 0256-64-4373 fax 0256-66-5553

Eメール s-kimie@ginzado.ne.jp



新年明けましておめでとうございます。

いつも暖かなご支援をありがとうございます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

いよいよ、合併の年になり、カウントダウンが始まりました。

◎新市章も決まりましたし、施策の調整や議会の進め方等も話し合いが進みました。

◎議員は7ヶ月在任で残ることになり、10月まで55人の議員数になります。

◎議会運営は大部分を燕市の現行で進められる事になりました。

◎一般質問の時間が90分から60分に短縮されました。

今までは一人の議員の一般質問の時間が答弁も含めて90分でしたが、60分に短縮される事になりました。

◎会派制の導入

町議会は会派制をとっていませんでしたが、会派を作ってもらうことになりました。現燕市では6つの会派があります。

◎閉市の準備が進められています。

3月4日 分水町閉町式 3月9日 吉田町閉町式

3月12日 燕市閉市式 が行なわれる予定です。

議会は「まち」のあり方を議論してより良い方向に進めていく場所であると思っていますし、きちんとした議論、提案ができるように努力していきたいと思っています。

◎ 新市庁舎建設について

新庁舎建設計画については、当初、合併前に実施すると提案されていた「同意書の取りまとめや価格交渉、事前説明」、等は合併後の新市長の権限による。と変更されました。

これは「当たり前のことでは」と思っています。

◎ 合併法定協議会資料の不思議

燕市議会では、新庁舎建設計画(位置決定案)は合意されなかったのに合併協議会に提出された資料には「新庁舎建設事業(案)について」に基づき説明の結果3市町議会で了解をいただきました。との記述があり、指摘をし、訂正を求めました。

これは情報操作になるおそれがあるのではないかと思っています。

行政からの提出資料は念をいれて見ていく必要があると改めて思いました。

◎ 新庁舎建設における新たな経費

新市庁舎建設予定地に提案されている場所は、燕から見ると工場団地の陰になる農道の脇で分かりにくいところです。

そのために広域農道8号線の舗装改良、歩道の整備に7,200万円、吉田384号線の道路改良に約1億9,000万円が新たにかかるかと提案されました。新庁舎は、総事業費、約41億円かけて建設することで計画されていますが、新たな道路整備経費が増えることになりました。

皆さんはどう思われますか。

市政報告をしますので、小人数でもかまいませんのでお声かけください。お待ちしております。

12月議会一般質問

質問

◎ まちづくり協議会の育成について

- ①まちづくり協議会の設置が進んでいるが、この後どう育てるのか。
- ②子どもの地域への参加に教育委員会はどう関わるのか。
- ③いろいろな世代の参加が必要と思うが人材の育成にどう取り組むのか。

◎ 障害者の自立支援について

- ①障害者自立支援法の制定で障害者の生活への影響についてどう思うか。
- ②小池地内の障害者関連施設の概要は決まったか。
- ③障害者就労支援の実態は、これからの取組みについて。

◎ 防災のまちづくりについて

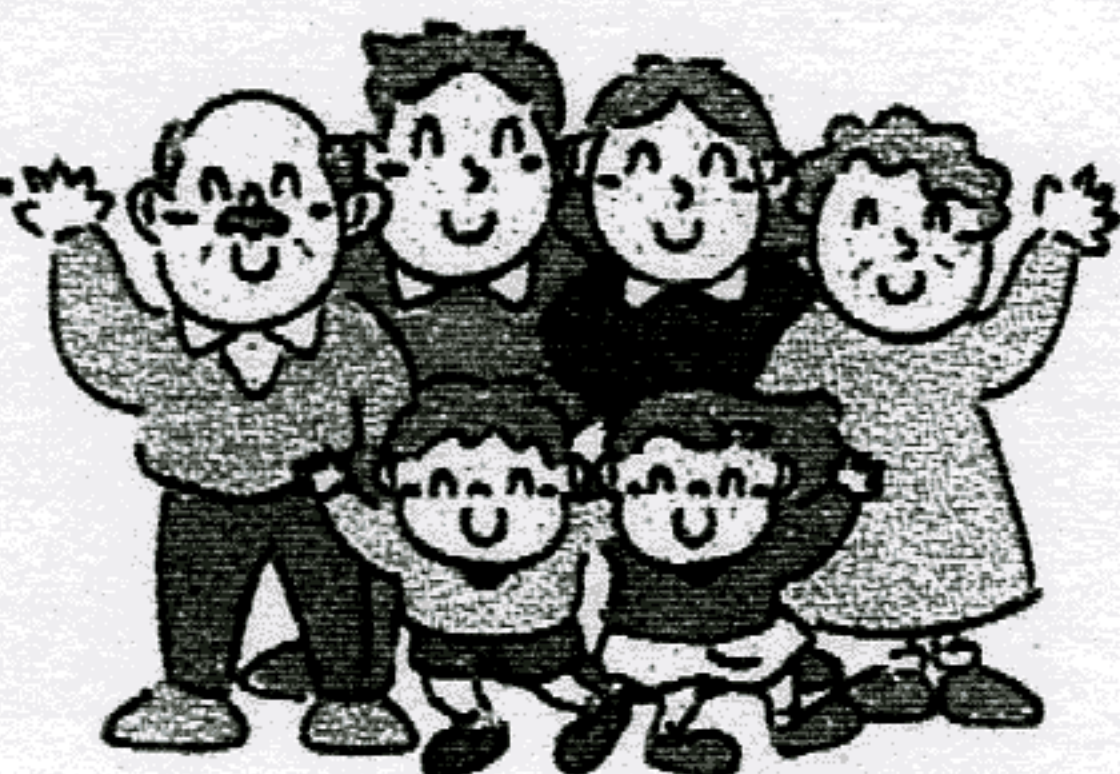
- ①災害が続いている。いつおきても不思議ではない災害に備え、防災のまちづくりが必要。どう取り組むのか。
- ②過去の災害に学ぶことも大事。情報は集めているのか。

答

- ①まちづくりで重要なのは地域の自主性。要請に応じたタイムリーな支援をしていきたい。協議会の横の交流もしていきたい。
- ②開かれた学校づくりを進め、地域の行事への積極的参加を進めたい。
- ③まちづくりコーディネーター養成講座等への参加や情報の提供などしていきたい。

- ①支援法により三障害が一元化され、共通のサービスの提供が実施される事になった。原則一割負担になる。詳細はこれから提示されると思う。
- ②障害者地域生活支援センターを整備したい相談業務の充実を第一に掲げ、短期入所もできるようにしたい。
- ③喫茶「ポポ」で生き生きと張り合いをもって働いてもらっている。つばくろの里に授産施設を建設予定で、そこでの仕事の従事というものも大きくなってくるのではないかと。

- ①信濃川下流域災害情報協議会にも入会し、研究を進めているし、中越大震災ネットワークにも参加し、情報の収集に努めている。新市における防災計画に反映させたい。
- ②大地震災害では消防、警察、自衛隊の応援の受け入れ体制を早く立ち上げる必要を感じた。マニュアルに沿った訓練が必要と思う。
- ③児童、生徒の安全を第一にすぐに下校させず待機させるとか、学校再開まで家庭訪問を続けるなど実情に応じた取組みを聞いている。教訓を生かしていきたい。



◎合併後の新しいまちづくりについて



新しいまちのリーダーには、新しい発想を持った人に！

3月20日人口が今までの倍の約84,000人、面積が約3倍の110.88kmの市が誕生し、金属産業だけではなく、観光や農業を含めた新しいまちづくりを進めていく事ができます。

そして、これからは国や県に頼っての「まち」の運営から、自立したそれぞれ特徴のある「まち」を創って行く事が大事だと思いますし、私たちの子どもや孫などに続く次の世代に大きな負担を残さないようなお金の使い方や事業のあり方をしていかなければならないと思います。

3月20日合併後50日以内に新燕市の市長選挙が実施されます。燕市では三条方面との合併協議やその後の住民投票、そして、その後2回市長選をしてきました。

現高橋市長はクリーンな選挙を定着させてきた功績もあり、私も応援をさせていただいてきました。

先回の選挙の時には、「これが最後です」合併後は若いリーダーに委ねます。」と公約、公言なさり、私も含め高橋市長を応援してきた人たちは「これが最後」と本当に懸命の応援をしました。

今まで頑張ってこられた高橋市長、本当にご苦労様でした。

